

「口友会」の本



『幸せのために』
初めての総合的な療育ハンドブックです。子どもを育てる上での不安に、正しい知識と理解をもって対処するための手引き書です。医療については、全国の大学病院等の47名の専門医がお答えします。育児については、友の会の父母が心をこめてお答えします。

絶版のため現在は販売していません。



『心の扉』
この本には、1986年9月に行われたパネルディスカッション「いじめをめぐって」の全記録と、折々に寄せていただいた、この疾病とともにある方々の手紙や手記がおさめられています。どれも生きることの根源から問いかけたすばらしい文章です。
定価 680 円 (送料別)



『明日へ贈る』
口友会が発足から20年の歩みの中で問い、考えてきたことをまとめました。障害を持ちながらいかに生きていくか、患者のための医療とは何か、講演やシンポジウムで考えました。アンケートをもとに患者の実態を詳細に分析しました。会員の体験談も満載しています。

*絶版のため現在は販売していません。



『「口友会」からあなたへ』
治るの。ミルクは上手に飲めるの。手術はいつ頃するの。周りの人へどう伝えたらいいの。そんな親御さんの心配に、口友会の先輩からのアドバイスが満載。前向きに育児が考えられ、きっとお子さんの成長が楽しみになることでしょう。
定価 350 円 (送料別)

《口友会の会員》

正会員：口唇口蓋裂の子供を持つ親、本人、家族。
準会員：口友会・正会員の関係者（ご家族・友人等）で口友会の活動に理解を持ち、ご協力頂ける方。
個人賛助会員：上記以外の方で、会の目的を理解し、協力して頂ける方。
個人賛助会員：会の目的を理解し、協力して頂ける団体。

《入会方法》

入会申込書をお送りいただき、同時に入会金と当年度分の会費（1年分）をお納めください。入会申込書は会員種別毎に異なる書式で用意しておりますので、口友会事務局までお問い合わせください。

- ☆ 入会金：入会金2,000円（会員種別に関わらず一律2,000円となります）
- ☆ 会費：

正会員	6,000円	個人賛助会員	10,000円
準会員	2,000円	団体賛助会員	30,000円

会費と入会金の振込先は下記の口座です。

郵便振替口座 00160-8-46709
加入者名 口友会

☆銀行からの振込みをご希望の方は事務局までお問い合わせください。

《詳細は口友会事務局まで》

〒140-0001 東京都品川区北品川 2-26-20
北品川フラワーホーム106
TEL 03-5479-8941
FAX 03-5479-8925

口友会によるこそ！



1970年、1人のお母さんの呼びかけに、6家族が集いスタートしました。

口友会は口唇・口蓋裂児者とその家族のために、会員相互の連絡や、情報交換、医療制度の改善と社会保障の拡充、ならびに、この疾患に対する社会的理解の促進を図ることを目的としています。

会の活動費はそのほとんどが会員の会費とカンパで支えられています。これは、あらゆる場面で常に公平な立場にたって、特定の医療機関に偏らない医療情報を提供できることにつながっています。

また口友会は、会費を払い情報だけを得る会ではありません。会員一人ひとりが、会の活動に参加して、会員同士の交流の輪を広げ、自信を持って子供を育て、自信を持って自立した生活を送り、社会に向けて口唇・口蓋裂に対する理解を広めていく会です。

あなたも口友会の仲間になって、ともに考え、行動していきませんか！

*詳しくは、ホームページをご覧ください。

口唇・口蓋裂友の会（略称 口友会）
<http://www.koyukai.org>

口友会は



こんな活動をしています

★**講演会**：医療講演は治療を受ける際なるべく多くの情報を集め、それをできるだけ正確に理解し、納得して医療を選択するための勉強会です。患者及び親として「治療を選択する目を養っていくこと」を目的としています。また口唇・口蓋裂の治療に留まらず、会員のニーズによって様々な分野の先生方をお招きして講演を行っております。

★**交流会**：本人会員や親を発言者としたシンポジウム、グループに分かれての交流などがあります。

★**親子まつり**：親と子、保育ボランティアさんと一緒に、ミニ運動会やゲームで楽しい時間を過ごします。子ども同士の交流も深まり、会員の間でも好評です。

★**機関紙「口友会」**：年間 4～5 回発行。講演会や親子まつりなどの行事報告、全国の会員の手記、他団体の情報など盛りだくさんの内容です。まずは読んでみてください。

★**地域の活動**：会員の希望と協力で、支部を作ることができます。支部では茶話会、交流会、一泊交流会を行ったり、支部便りを発行したり独自の活動をしています。地域での催しでは、入院や通院に関すること、子育ての悩みなど、時間を忘れてのおしゃべりがいっぱいです！（支部のある地域については、事務局にお尋ねください。）



★**成年部**：本人会員として登録している会員を中心に交流会等を行っています。

★**重複部**：口唇・口蓋裂の他に合併症を持つ本人と、親たちで構成されています。日頃お子さんのお世話で、外出のできない会員も多いので、交換ノートで交流の輪を広げています。他の患者団体にはあまりみられないものです。



★**電話相談**：事務局では月曜日～金曜日の10時半～1時まで、「ミルクが飲めない」「手術は…」「矯正は…」など会員の相談に、子育てを経験した親が親身になってあたっています。入会希望者には、会の活動について説明をしています。なお相談は、子育て中のお母さんが行っているの、祝祭日、春夏秋冬の学校の休みの時は、相談もお休みさせていただきますのでご了承ください。

口友会のあゆみ

☆「口友会」の誕生

1970年9月、三鷹市民会館に6家族が集い口友会の第一歩が記された。

☆「健保」への運動

1977年2月、単独での厚生省交渉を開始してから4年、1981年4月、「唇顎口蓋裂の歯科矯正治療」に健康保健が実施、育成医療の対象にもなる。

☆「機関紙」の発行

1975年「口友会」第1号発行

☆「支部」「部会」の誕生

・1986年関東を中心に8支部が誕生
・1988年1月「青年部」発足
・1989年5月「重複部」発足

☆「事務所」の開設

1994年12月、現在の品川区北品川に念願の事務所開設

☆「本」の発行

・「口唇・口蓋裂児者の幸せのために」(1983年5月)
・「心の扉」(1987年5月)
・明日へ贈る」(1991年7月 現在は販売はしていません)
・「口友会からあなたへ」(2001年6月)

☆「アンケート」の実施

・口唇・口蓋裂に関するアンケート(1990年10月実施)
・乳児・3歳児アンケート(2003年11月集計分析報告、機関紙121号、122号の2冊にアンケート特集号としてまとめる。)

